



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.140



3月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2023年3月6日

## 日本人が忘れかけている日本

副会長 涌井 史郎(雅之)

時間が経つのが早い。昨年喜寿を迎え、更にそうした実感が増す。それにつけてもこの歳になると、短い人生に於いてコロナで死んだも同然の貴重な3年間の損失は実に痛い。

毎年出席をした国際会議を機会に諸国を漫遊することもできず、最新のプロジェクトを1ユーザーとして体感することも禁じられた。その反動は、国内に爆発した。コロナ罹患を心配する声を皆があげるのを無視し、観光庁や環境省、農水省や国交省の委員として、或いは個人的興味から様々な地域に足を延ばした。

それは決して無駄ではなかった。入込客数を指標に観光経済を論じる向きに、大いなる異議を唱え、オーバーユースがどれ程弱小自治体の有形無形の文化や経済を痛めているのかを論じ、「観光経済は入込のみならず一人当たりの消費額の多寡。つまり体積」と説いて回った。現実にアジア圏、欧米圏域から来日する消費額の大きな入域観光客は、ブランド品や名所的観光地の周遊に興味を深めない。

日本という国の文化の本質。つまり食や生活習慣、祭りや信仰。そしてアートに高い興味を示す。その好例が、米国の東洋文化研究者アレックス・カー氏がプロデュースした平家の落人集落で知られる秘境。徳島県三好市祖谷であろう。美しい。これこそ究極の自然共生と皆が感嘆する。それは宿泊者数に如実に表れる。2007年には504人であった訪日宿泊者数が2018年には18827人と急増している。

我々の頭の中にある観光像と訪日外国人のそれにはかなりのギャップがある。とりわけ高付加価値を求める消費額の高い人々が求める日本はかなりディープなものといって良い。それを委員の一人として参加した、観光庁による「上質なインバウンド観光

サービス創出に向けた調査」では、観光で重視する要素を「自己発見かアクティブか」「楽しみが目的か」の2軸により下記の4つの領域を分類し、富裕旅行者の求める方向について大まかに把握した。つまり、Aesthetics seeking moments (美意識の追求)、Entertainment seeking moments (娯楽・楽しみの追求)、Truth seeking moments (真理の追求)、Discovery seeking moments (新たな発見・体験の追求)という整理である。回答の多くは真理の追求や新たな体験の追求に傾斜した結果が出た。

確かに訪日外国人にとっての日本の魅力とは、一山・一河を超えるだけで民家の屋根の形や瓦の色も違う、まるで盆景かモザイク画でも見るが如きの民俗文化の多様性と自然を尊重する土地利用。つまり我々が当たり前とする風景や暮らしに驚嘆し、感動する。しかもそれは必ずしも過去の追憶の風景のみならず、街角に並ぶベンディングマシーンや、都市近郊の無人の野菜販売といった風景もそれにあたる。

アマン創業者のゼッカー氏が日本各地に新たに作り出している宿泊施設はせとうち生口島のプロジェクトなどを見ても、当たり前の風景を改めて磨き上げ余計な夾雑物を取り除いたかのような美しさに満ちている。

何時から我々は、この国に住みながら、外国人にこの国の良さを教えてもらわねばならぬ状態に陥ってしまったのであろうか。

残り少ない人生の最後の働きの方向が何となく、当たり前を磨く、とりわけ自然共生という人類に貢献できる日本人のライフスタイルの特性を磨き上げ世界に知らしめるという方向に焦点が絞られようとしている。それにしても行動を縛られたこの3年間で口惜しい。

## 第51回国際ホテル・レストラン・ショー 報告

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

2023年 第51回国際ホテル・レストラン・ショーは、2月7日(火)～10日(金)、東京ビッグサイト・東展示棟にて、コロナ禍における基本的な感染対策を実施したうえで開催されました。観光業・宿泊業にとって、3年間耐え忍びつつ待ちわびた観光復活の機運が高まりつつある中での開催となり、この数年とは明らかに異なる活況を呈していました。ちなみに、総来場者数はコロナ前の2019年比で、2021年は3割5分まで落ち込んだものが、今年は7割まで回復し

ています。さらに今年は協会設立 70 周年を迎え、総合テーマを「ホスピタリティのくに 日本を伝える」と改め、協会の新たな取り組み姿勢を打ち出しました。ホスピタリティデザインセミナーは、「SDGs／サステナビリティ」、「地域活性化／多様性」、「外資系ブランド／ローカルティ」の 3 つのテーマ毎にセミナーを固めた日程を組み、特徴や社会的な意義などをサブタイトルでわかりやすく伝えました。概ね、次の 10 年に向けて良いスタートが切れたものと感じています。今年もバーチャル展示会ですべての展示とセミナーをご覧いただける予定ですので、ご期待ください。

また、当協会の旅館観光地分科会・スマートシティ研究会が推進しているプロジェクト「LINKED CITY」は、9 日 10 日の 2 日間、東 8 ホール特設会場にて、日本能率協会主催の「地域振興プロジェクト〜つなぐ、つながる、まちづくり〜」に企画協力し、こちらも盛況を博しました。

## 建築部会の活動状況とこれからの予定

### 建築部会長 崎山 茂

昨年 6 月は私自身も久し振りにイタリアへ行き、コロナ禍への対応が日本と欧州で大きく異なることを実感しましたが、最近日本でもコロナ禍をあたかも強制終了させるような動きがあることには好ましい感を抱いています。昨年 11 月には水上セミナーを復活させ、五輪後初の湾岸巡りを楽しんで戴きましたが、40 人乗りの船に 30 人しか応募がなく、しかし乗ってみるとコロナ禍を経た今の感覚では十分に密な感じで、寒くなり始めた東京の船旅を満喫しました。

今年は募集に時間的な余裕を持って、温かい時期に再度開催するつもりです。施設見学会も幾つか企画中で、さらにスーパーヨット誘致の課題研究・試みも進めて参ります。

## 設備部会の活動状況とこれからの予定

### 設備部会長 藤野 健治

設備部会では、令和 5 年度も、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、昨年同様に活動を継続して行きます。7 月 7 日には、70 周年記念事業の一環として、人と社会へのホスピタリティをテーマとして「新しく生まれてくる観光のあり方」と題し、ポストコロナの観光業界のあり方、インバウンドの受け止め方や、ワーケーション、マイクロツーリズム、などにつき、様々な切り口から示唆を頂くセミナーを開催予定です。

また、施設見学会や設備部会セミナー・交流会も対面での実施を予定しており、幹事会にて実現に向けた打合せを進めています。活動状況につきましては機関紙等に掲載し皆様に情報発信して行きたいと思えます。

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

### インテリア部会長 寺本 昌志

コロナ禍における協会活動も 4 年目に入り、社会は With コロナの中で新しいライフスタイルを考えるようになって参りました。2022 年度の部会における活動も社会情勢に合わせ、安全性を第一に考えた中でリアルと Web によるハイブリットな形式で、実施回数は抑えつつも、質の高いセミナーや見学会・研究会を計画致しました。年度前半は 5 月に商店建築社編集長による「ホテルづくりの研究会」（新情報発信グループ）、6 月に芝パークホテルの見学（宿泊施設見学グループ）を実施し、どちらも 60 名以上の方が参加されました。年度後半は 2023 年 3 月に「渋谷再開

発」に関して東急株式会社ご担当者からお話して頂くセミナー（セミナーグループ）を予定しており、また注目施設見学グループでは今年度最後の見学先として「ところざわサクラタウン」を考えましたが、対象が広域なので開催方法について検討しているところです。

来年度に向けても、インテリア部会としては会員の皆様同士がより良い交流機会を持てるよう、With コロナのあり方を十分理解した上で、実施計画を立てて参りたいと考えております。今後も活動にご協力の程、宜しくお願い致します。

## 賀詞交歓会 報告

恒例の賀詞交歓会を 1 月 13 日 観光庁 仲澤観光産業調整官の来臨のもと、ホテルメトロポリタン・エドモントで 11 時～12 時 30 分の間リアル開催致しました。

コロナ禍の変異株オミクロンの第 8 波の感染拡大が危惧されるなかでの実施であったため事前登録制にして軽食とお飲み物を、形式的には立食形式で行いました。130 名の事前登録でしたが当日の参加者は 108 名でした。

## 令和 5 年度通常総会開催日及び会場について

2023 年度の通常総会および総会後の講演会は、6 月 15 日（木） ホテルメトロポリタン・エドモントで開催することにしました。

## ♥編集後記♥

コロナウイルスの感染状況が減少傾向にあるとはいえ、まだまだ厳しい状況が続くなか今年度の事業が無事に終わろうとしています。

新年度は、いよいよ記念すべき創立 70 周年記念事業がスタートいたします。

計画では、記念事業に相応しく内容の充実された事業が複数準備されています。

全員参加で催事を盛り上げ、お祝いしたいと存じます。

Y. K

